JAだよりおおがた
Ogata
10
OCTOBER
2016 No.519

特集 第４回ＪＡまつりを開催しました！ 04

今月号の主な内容

02 表紙紹介・あぐりプラザ情報・健康百科
03 女性部活動だより
06 今月のいちおし情報
07 インフォメーション・理事会報告・青年部活動報告と予定
08 初めてのお誕生日・フォトニュース

JAグループ秋田キャッチフレーズ
いいねをいっぱい届けたい
JA大潟村

JAだよりおおがた
Ogata
10
OCTOBER
2016 No.519

表紙のご紹介　「第14回ＪＡ共済学童野球大会」

９月３・４日、秋田県営野球場（秋田市雄和）などを会場に、県内15ＪＡの管内代表が熱戦を繰り広げました。

ＪＡ大潟村管内の「大潟ドリームス」はＪＡ秋田しんせい管内の「由利野球スポーツ少年団」と対戦し、激戦の末８対９で惜敗しました。

悔しさをにじませる選手たちでしたが、観覧席からは健闘をたたえて惜しみない拍手が送られました。

大潟ドリームスの皆さん、お疲れ様でした！（表紙写真とこちらの写真は保護者の岡田聡様より提供いただきました）

あぐりプラザ トクトク情報

★３倍ポイント優待日

10月14日㈮　ミスタードーナツ予定

10月24日㈪　畠栄あんごま餅予定

★今月の特売日

秋の収穫感謝セール♪

20日（木）　イタリアントマト予定

21日（金）　ミスタードーナツ予定

★本家比内地鶏きりたんぽセットの注文承り中です！

お問い合わせは生活課（45－2214）まで。

健康百科　乾き目の原因とケア

佐久総合病院名誉院長
松　島　松　翠

「乾き目」というのは、「ドライアイ」ともいいますし、また「疲れ目」といってもよいでしょう。さまざまな要因により、涙の分泌が減少したり、蒸発が亢進（こうしん）したりして、目の表面が乾いて、症状が現れる慢性の病気をいいます。

ドライアイの症状は、目の不快感、目が疲れる、目が痛い、目が赤くなる、急に涙が出る、しょぼしょぼする、目を開けていられない、物が見えにくい、などです。

涙には、「目の表面の乾燥を防ぐ」「酸素や栄養を目の組織に供給する」「ほこりや細菌などの異物から目を守る」などの重要な働きがあります。

まばたきをすることによって、涙の分泌と入れ替えが行われ、目の表面は常に涙でぬれているのが正常な状態です。しかし、何らかの原因で涙の分泌が減少したり、蒸発が亢進したりして目の表面が乾くと、いろいろ症状が出てきます。

その原因の一つにコンタクトレンズの使用があります。涙を分泌する作用が鈍り、涙の分泌量が減少します。人口涙液などを点眼する方法も必要になります。

エアコンの使用も、空気が乾燥し、涙が蒸発しやすくなります。エアコンの風が直接目に当たると、さらに蒸発しやすくなりますので、特に注意が必要です。

また、パソコン作業をしていると、どうしてもまばたきの回数が減り、涙が蒸発しやすくなります。何かを見ることに集中すると、まばたきの回数が減ります。通常、まばたきの回数は「３秒に１回」ほどですが、読書では「６秒に１回」くらい、パソコン作業では「12秒 に 1回」くらいに減少するといわれています。

第387号

女性部「活動だより」

☆これからの行事予定

◎女性部・フレミズ合同役員研修 11月８日（２ポイント）
◎婦人バレーボール大会　11月24日（２ポイント）
◎女性部研修　12月２日（２ポイント）
☆参加者募集
　種苗交換会見学（湯沢市）（２ポイント）
　10月31日　８時30分
　ＪＡ大潟村駐車場集合 ～ 湯沢市種苗交換会会場 ～
　羽後町道の駅 端縫いの郷 ～ 午後５時大潟村到着
申込先：生活課　木村環　締切：10月17日

★活動報告と各種会議報告

◎野菜栽培活動グループ（８月28日・９月３日）

８月28日：人参を収穫して17袋ＪＡ店舗に出荷したところ、人参の入荷が少なかったため喜ばれました。新たに大根と人参の種まきもしました。

９月３日：西５丁目の畑を利用している人たちの草刈りがあり、その後人参の収穫をして、27袋ＪＡ店舗に出荷しました。玉ねぎの種まきは、間隔をあけて一粒ずつ筋蒔きするのでとても時間がかかり、予定していた長ネギの土寄せはできませんでした。30℃を超すとても暑い日で、休憩時に畑で採れたスイカで喉を潤して頑張りました。人参・玉ねぎの芽が出るまでの水かけは各自の宿題となりました。（小澤美智子記）

◎南秋連合婦人会正副会長研修（９月１日）

八郎潟町の田んぼアートと戦国時代の古城跡「浦城」を見学しました。

小高い公園から見下ろした田んぼアートは実りの秋を間近に感じさせる色合いとなっていました。町の方たちの熱意が伝わるにゃんパチと一日市盆踊りをデザインした田んぼアート。来年の作品も楽しみです。その後、ＮＰＯ法人浦城の歴史を伝える会のみなさんから、戦国時代に作られた山城跡を案内していただきました。（三村敏子記）

◎婦人会移動研修（９月４・５日）

今年は岩手県紫波町、そして仙北市田沢湖のわらび座の観劇ツアーでした。

１日目、最初の研修地は紫波町ふるさとセンターでした。昼食はとなりの農家レストランで地場産の野菜とお肉のおいしいランチを食べ、店長の話を聞き、長く続けるための苦労など農家の女性として、頑張っているのだと感心しました。私たちが行った日は日曜日で、センターには桃やぶどう、梨など町の果物がたくさん並び、どれも新鮮でおいしそうでした。駐車場がいっぱいになるほどのにぎわいでした。

次に紫波町のオガール・マルシェという所を見学しました。一見、都会の街並み風で駅前を中心に役場や公園、スポーツセンター、病院、食べ物屋、産直、その周りに住宅があり、産直に新鮮な果物、野菜、肉や魚などが並んでいました。ここは町の10.7ヘクタールを中心とした、都市と農村の結びつきを目指している都市整備地区で、住宅などは省CO_2先導事業補助設備導入が対象になり、補助金が半分（137万円）補助される紫波エコハウス建築プロジェクトを推進、若い人たちが住みやすい町を作っていると感じました。

１日目最後は宮沢賢治記念館に行きました。童話作家のイメージでしたが、農業に従事し、人々のために生きた賢治の世界観に心洗われ、森の中の記念館を心地よく歩きました。

２日目は盛岡手づくり村で、月に１・２度しかない南部鉄器の鋳込作業を偶然にも見ることができました。鉄が1,400℃に溶かされて鋳型に流し込む作業はとても迫力があり、若い職人が多くいた事にもびっくりしました。

一路仙岩峠を通り、楽しみにしていたわらび座での観劇は秋田県初の女性代議士、和崎ハルさんの「ハルらんらん」でした。ハルさんの元気な歌や踊りに笑い、涙し、とても楽しいひとときでした。観劇後は、ハルさん役の椿千代さんと写真をとり、わらび座から元気をもらい、帰路につきました。

初めて研修旅行に参加しましたが、おばさんパワーに圧倒され、バスの中のにぎやかな雰囲気は、小学校の遠足みたいでとても楽しく、満足な旅行になりました。（東２－５班長・石川千春記）

◎秋田県女性組織リーダー研修会（９月６日）

「ＪＡ女性・ふみだす勇気・学ぼう・伝えよう地域とともに」をテーマに県内から180人ほどの参加で、秋田市のＪＡビルで開催され、全県副会長の三村敏子部長が進行を務めました。

「楽しいＪＡ組織・今日の自分がいちばん若い、いのちの花を咲かせましょ！」と題して、農業農村ジャーナリスト大金義昭氏の講演でした。女性部の活動で学び、参加して一歩踏み出すことで、新しい体験をし、新しい自分に気づくことで成長できる。活動はひとのためならず。今やれることを少しずつやること。そして、笑顔で楽しくやれば仲間も増えてくる。昔は嫁の苦しい時代もあったが、今はパートナーとして、農村女性の活動は評価されてきている。これからは自信をもって地域の活性化を頑張ってくださいと、ユーモア交えてのお話であっという間の１時間半でした。

午後からは「秋田の食べものがたりを伝えよう」と題して農業試験場企画経営室長・吉尾聖子氏のお話でした。「あきた郷味風土記」が県内本として最大のベストセラーになった事は、県民がいかにあきたの食文化を大事に感じているかの表れであり、学校給食に取り入れるなど、多くの人が継承を頑張っている。また、食文化を支えてきた伝統野菜も注目され、これらを活用していくのもこれからの秋田の農業の一端になりうるのではと貴重なお話でした。

リースピーチでは大潟村からフレッシュミズの後藤美鈴さんが頑張ってくれました。料理講習やスポーツ大会、手づくり体験など、様々な活動を通じて楽しく仲間づくりが出来ている。会員を増やすため、おためし会員制や保育園にチラシを配るなど頑張っており、元気と笑顔で地域を盛り上げていきたいと力強く発表してくれました。（山本嘉子記）

◎第３回健康推進員会（９月６日）

今回は総合検診についてでした。この日は受診対象者調べの回収最終日であり、それを届けながらの会議となりました。検診の日程、料金、各検診時の注意点についてと、推進員の手伝い当番日の確認、調整を行いました。

申込をしていなかった方でも、期間内に受付をすれば受診することができます。気になるところがある方は必ず受診するようにしましょう。受診の際は受診カードと保険証を忘れずにお持ちください。（浅沼トク子記）

子ども屋台村

花火くじ

フランクフルト

ぷよぷよすくい

うまい棒つかみ取り

かき氷

いっぱいたのしんでくれたかな

しました！

ＪＡ大潟村は９月３日、組合員の皆様及び地域の皆様との交流・ふれあいを目的として「ＪＡまつり」をＪＡ会館駐車場で開催しました。天候に恵まれたくさんの方々にお越しいただきました。当日の様子をご紹介します。

花火くじ、かき氷など５つの出店が並んだ「子ども屋台村」。２８０人以上の子どもが訪れ、全部の屋台が楽しめるスタンプカードを片手に友人や家族と思う存分楽しみました。

ステージイベントは子ども

ジュウオウジャーショーは子どもたちに大人気でした

総合司会は
ＦＭ秋田アナウンサー
村井絵美さん

新入職員あいさつ

（写真左から）金融課・渡邊桃香職員、資材課・佐々木新職員、大﨑拓磨職員、営農支援課・宮国淳職員、総務課・山田正則職員、小林肇組合長

「エンタの神様」で大ブレークした永井佑一郎のお笑いライブ

大抽選会

JA共済 アンパンマン こどもくらぶブース

特集 第4回JAまつりを開催

皆様のご来場、誠にありがとうございました。

たちに大人気、「動物戦隊ジュウオウジャー」のショーで華々しくスタートし、「エンタの神様」で大ブレークした吉本興業の「永井佑一郎お笑いライブ」が会場を沸かせました。

その後、オーブンレンジなど豪華賞品が当たる大抽選会では村内の方が大勢詰めかけ、会場は超満員でした。

午後5時からは大人の部として「ビアガーデン&おつまみ屋台」を開き、280人以上が来場しました。JA職員が大潟村民の皆様へ日ごろの感謝を込めて、生ビールやサワーなどの飲み物、焼き鳥などのおつまみをオール100円で振る舞いました。

村内のフラダンスチーム「プアレア」の美しい踊りに魅了されながら、組合員と地域の皆様、JA役職員が会話に花を咲かせ、大盛況のうちにJAまつりは幕を閉じました。

大人の部 ビアガーデン&おつまみ屋台

フラダンス プアレアの皆さん

今月のいちおし情報

第139回秋田県種苗交換会のお知らせ

催事日程

期日・時間

平成28年10月29日（土）～11月4日（金）
9：00～16：00（最終日／9：00～12：00）

会　場

●主　会　場／湯沢市総合体育館、湯沢文化会館
農産物出品展示、ＪＡ地産地消展、秋田県産米改良展、学校農園展、聖農 石川理紀之助翁展

●主会場周辺／健康ドーム
湯沢市観光物産展、ＪＡこまち女性部食堂、農業関連参考展示

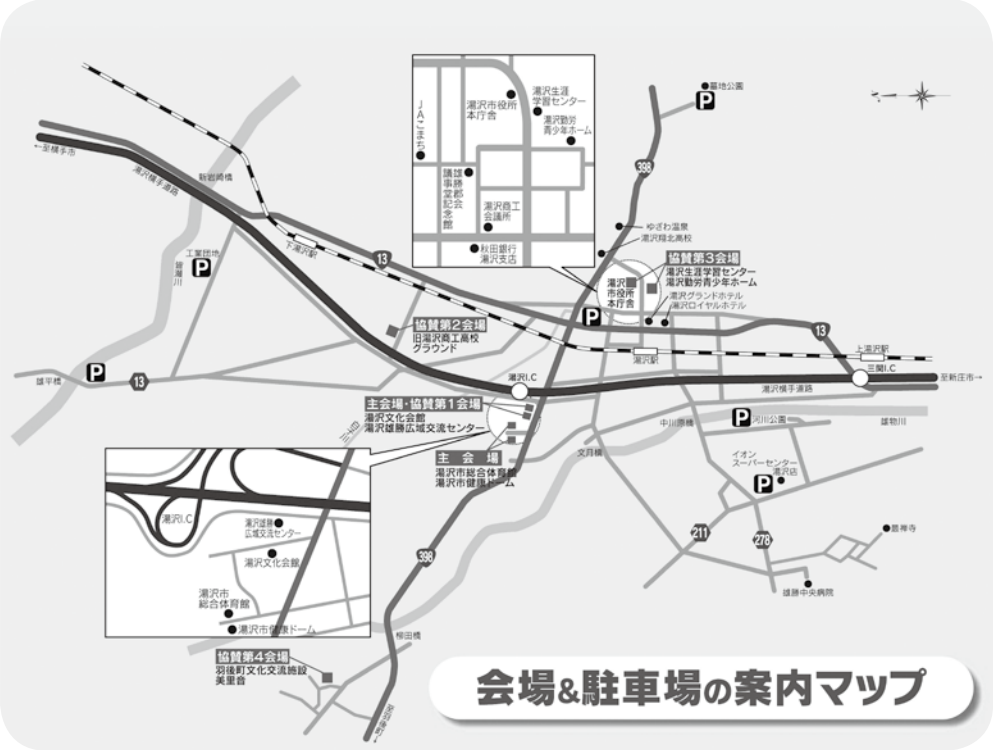
●協賛第１会場／湯沢雄勝広域交流センター
農業関連参考展示

●協賛第２会場／旧湯沢商工高校グラウンド
農業機械化ショー、ＪＡ全農あきた展、植木・苗木市、物産販売展　ほか

●協賛第３会場／湯沢生涯学習センター、湯沢勤労青少年ホーム、湯沢市役所本庁舎
農業関連参考展示 ほか

●協賛第４会場／羽後町文化交流施設 美里音

◆会場＆駐車場のご案内



ご来場される皆様へのお願い

秋田県種苗交換会開催期間中は、多数の参観者の車で湯沢市内の道路が混雑することが予想されます。

それぞれの会場周辺には駐車場がなく、交換会用に臨時に設置される駐車場には限りがありますので、自家用車でのご来場はなるべく控えていただき、公共交通機関をご利用ください。

※主会場、協賛第１会場、協賛第２会場、協賛第３会場と臨時に設置された駐車場をつなぐシャトルバス（無料）を運行いたしますので、ご利用ください。

湯沢市観光PRキャラクター「こまちちゃん」

農産物の出品にご協力ください。受付を10月25日（火）行います。お問い合わせは営農支援課（45－3033）まで

Information

年金受給者の方との懇談会のご案内

当ＪＡの貯金口座に年金のお受け取りをご指定いただいている方との懇談会を、下記のとおり開催いたしますので、ぜひご参加くださいますようご案内申し上げます。

◎日時：11月８日（火）午前９時30分～午後２時
◎場所：サンルーラル大潟　大ホール
◎内容：マジックショー
歌と漫芸ショー「円山和子・藤川佳子」

☆準備の都合上、10月28日（金）までご出席のとりまとめをいたしますのでご協力ください。申込用紙が各ご家庭へ配布されますので、貯金窓口までご提出ください。

お問い合わせは 金融課総合推進係（TEL45－3018または2211）まで。

平成28年度米の放射性物質の検査結果について

秋田県が実施した大潟村産米の放射性物質検査の結果は、次の通りです。

【検査結果】

大潟村において、「放射性セシウム」を測定した結果、不検出でありました。

９月９日をもって、大潟村産米の出荷の自粛要請は「解除」となりました。

皆様のご理解とご協力に対し、感謝申し上げます。

品　目	検査結果（ベクレル/kg）		
玄　米（あきたこまち）	放射性セシウム		
	セシウム134	セシウム137	計
	不検出（検出限界濃度）1.9Bq/kg	**不検出**（検出限界濃度）2.1Bq/kg	**不検出**

なお、結果は秋田県のホームページにも掲載されておりますのでご参照ください。

青年部 活動報告と予定

随時部員を募集していますので、興味のある方はぜひＪＡ大潟村営農支援課（TEL：45－3033）までご連絡ください！

●活動報告

９月２日　玉ねぎ播種
９月14日　青年部圃場暗渠

●活動予定

10月（日にち未定）　柿収穫手伝い・種苗交換会見学

ＪＡ大潟村の概況　28年９月末現在

貯　金…253億　664万円　　正組合員数……1,123名
貸出金…　84億4,681万円　　准組合員数……　38名
出資金…　9億2,240万円

理事会報告

９月29日開催

報告事項

・業務報告（８月末事業実績等）
・コンプライアンス委員会報告
・不祥事対応・未然防止の手引きの一部改正について
・コンプライアンス・マニュアルの一部改正について
・不祥事対応要領の一部改正について
・連続職場離脱実施要領の一部改正について
・組織会計事務受託取扱要領の一部改正について
・安全衛生委員会報告
・購買未収金取扱要項の一部改正について
・ネット教育ローン貸付要項の一部改正について
・内部監査報告について

議　案

第46号　懲戒委員会要領の一部改正について
第47号　役員責任調査委員会設置・運営規程の一部改正について
第48号　土地造成工事に係る工事請負契約書の締結について
第49号　信用事業方法書（貸出に関する特例）の利率設定について
第50号　理事と組合との契約について
第51号　貸付金について

協議事項

・組合員を対象とした土地の取得希望者の募集【再】について

その他

・方上地区未利用地へのポークランドグループ進出にかかる進捗状況について
・平成28年度役員視察研修について
・農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想の一部変更について

～ 生活課より ～

10月２日（日）の「新米まつりinおおがた」で、毎年好評の「国産牛販売会」を行いました。

１ｇ当たり２～３円で国産牛肉を販売し、約100人のお客様にご来店いただきました。

No.216 初めてのお誕生日おめでとう!!

一関　周（あまね）ちゃん

産まれてから１年。大きな声で自分を表現し、病気もなく元気いっぱいな周。いたずらもたくさんやっているね。
これからも元気にけがもなく育ってね。

今野　絵麻（えま）ちゃん

歩き出すのが早かった絵麻。誕生日にお餅を背負わせると、ニコニコしてペタペタ歩いたね。泣くと思ってたからみんな大笑い！最近はおしゃべりが多くなって、絵本とハンバーグが大好きな、活発な女の子。元気に保育園に通っています。

亀井　月榎（つきか）ちゃん

おとなしくていつも静かに座って遊んでいる月榎。でもお兄ちゃんの攻撃に負けずに立ち向かっていくのを見ると、実はおてんばなのかな？
月ちゃんのぷくぷくほっぺとニコニコ笑顔でみんなを幸せにしてね。

松澤　玲奈（れな）ちゃん

なんでもモリモリ食べてくれる玲奈。歩くのも上手になって大好きなお姉ちゃんの後をついていっては「来ないで」って言われるけど気にしない!!
これからも姉妹仲良くね。

このコーナーに掲載希望の方はご連絡お待ちしております。TEL 45－2211　広報担当

フォトニュース PhotoNews

JAチームも頑張りました
第38回村民駅伝大会

恒例の村民駅伝大会が９月９日行われ、住区や職場などで編成した10チームが熱戦を展開しました。
神社前をスタート後、商店街を中継点として役場・ＪＡ周辺を３周し商店街でゴールする全長７kmのコースを選手たちは秋晴れの中駆け抜けました。優勝は紫組Ａ（東３の２・東３の３）で、タイムは22分34秒でした。
ここ数年オープン参加だったＪＡチームは今回５位に食い込み、大きく成績を伸ばしました。
選手たちの一生懸命な姿に沿道からは熱気あふれる声援がたくさん送られ、みんなが熱く燃えた大会となりました。

アンカー、整備課自動車の浜田雄介職員。皆さん本当にお疲れ様でした

全力を出し切り、立ち上がれない資材課の佐々木新職員（写真中央）

ＪＡチームとして参加し、共に区間１位だった大潟中の佐々木悠大君（写真右）と菅原琉貴弥君（同左）

良いペースを保った監査課の長谷山隼職員（写真左）と、資材課の大﨑拓磨職員（同右）

大﨑職員からたすきを受けとる総務課の山田正則職員（写真右）。初参加で健闘しました

彼岸に向けて最盛期
トルコギキョウ・ユリの出荷

ＪＡの集出荷場には大潟村の生産者が育てた、ピンクや紫など色とりどりのトルコギキョウとユリが運びこまれています。
大潟村のトルコギキョウは７月から11月の間、ユリは６月から９月の間市場に出荷され、共にお盆前と秋の彼岸前にピークを迎えます。
秋の彼岸を目前に迎えた９月14日は、花き栽培部会Ｏ．Ｆ．Ｓ（大潟村フラワーグローイングセクション）の生産者４人がトルコギキョウ８種類・82ケース（２４００本）を、生産者２人がユリ５種類・67ケース（３２３０本）を出荷しました。
今年のトルコギキョウの収量は上々で、11月までに昨年の５万４０００本を上回る、６万本の出荷を見込んでいます。

花き栽培部会Ｏ．Ｆ．Ｓの伊藤由紀夫さんが出荷した、爽やかな緑が人気のトルコギキョウ「アンバーダブルホップ」